

学校新聞

平成 29 年度
「薫風」第 4 号
7 月 20 日 (木)

薫風

～緑新たに風も薫れり～



発行元 東京都立大崎高等学校全日制課程 〒142 - 0042 品川区豊町 2 - 1 - 7

有意義な夏休みはスタートダッシュが勝負！

校長 白井 克昌

世界最速を競う「F1」レースは、スタートダッシュが勝負と言われる。あるシーズンではあるが17レースのうち12レースで、第1コーナーを最初に通過したドライバーが優勝しました。2番目に通過した選手が優勝したレースは4回、3番目が1回、4番目以降の優勝はありません。「F1」レースは、スタートから第一コーナーまでの短い間でレースの大半が決まるということです。

自分のペースでことを進めることができる夏休みは、自分を高め、成長させる絶好の機会です。しかし、自分の甘さから怠惰の世界に転落していく危険性もあり、いわば自分が試されるときでもあります。自分に厳しくなれる人が成果を得ることができます。

明日から夏休みです。良いスタートダッシュができるかどうかで有意義か、怠惰になるかが決まります。大崎生一人ひとりが勉強、部活動、そして生活に充実した夏休みを過ごし、それぞれ元気に2学期の始業式を迎えることができるよう願っています。

【誇りを胸に！看板の設置】

本校には、平成23年度創立100周年を迎えた時に卒業生が作成した応援歌があります。その歌詞の一節に「われら大崎 誇りを胸に」とあり、この「誇りを胸に」を合言葉に日々の教育活動に取り組んでいます。一昨年、PTAの皆様にも部活動の大会の応援に使えるようにと、「誇りを胸に」を入れた横断幕を作成していただきました。7月、この横断幕のデザインをもとに看板を生徒昇降口の上に設置しました。生徒が毎朝登校時に仰ぎ見て大崎生であることの誇りを胸に学校生活を送ってほしいと願っています。



【ど根性ひまわり Gallant Sunflowers】

東日本大震災の被災地である宮城県石巻市で、津波により流されたお店の基礎からひまわりが伸び始め開花した。津波にも塩害にも負けず開花したこの逞しい姿に、石巻の人々は勇気をもらい「ど根性ひまわり」と命名しました。今年も、防災部(防災活動支援隊)で「ど根性ひまわり」を育てます。6月に昨年度収穫した種まきを行い、7月に成長した苗を正門周辺や線路沿いに植えました。また、3年生の必修選択で生物を受講している生徒も関わりました。

開花すると「ど根性ひまわり7世」となります。東日本大震災を風化せない活動として育てています。順調に育てば8月下旬から9月上旬には咲くでしょう。大崎生も「ど根性ひまわり」のように強く逞しく成長し、周囲に勇気を与える存在になりましょう。



【教科「人間と社会」講演会(1学年)】

6月、「ありがとうを伝える旅～世界11カ国で震災を語る～」の著者である菅原弓佳さんの講演を実施しました。菅原さんは、宮城県出身で、大学3年次に休学し、世界一周へ旅立ちました。その目的は、世界へ「ありがとうを伝える。」ことでした。東日本大震災で被災、その時の多くの国々が日本を援助してくれたことに対する感謝の気持ちを世界へ伝えるため、世界の大学を訪ね、ご自身の体験や被災地の現状などを伝えました。多くの人に出会ってほしい、出会うことで自分自身を確認することができるなどエールを送ってくれました。



「実りある最後の夏へ」

第3学年主任 廣見 卓哉

3年生諸君！高校生活最後の夏休みがやってきます。この長期の休みの重要性は言うまでもないでしょう。もちろん、進路希望によって様々な意味合いを持つと思います。大学受験を控えている諸君はまさに入試の天王山と言われる夏です。目標、計画をしっかりと立てて臨みましょう。アドバイスとしては、1週間ごとに目標を立て、この週は英文長文読解強化週、この週は古典問題集による文法事項復習週、などと中心となる目標を立てること。もちろんそれだけやるわけではなく、ルーチンワークとしての英文音読、英語単語暗記、英作文例暗記、歴史事項暗記、古文単語暗記など、うまく組み合わせて充実させることが大事ですね。なかなかうまくいかず、心が折れそうになることもあるでしょう。なんでこんな勉強しなくてはならないのか、とか、こんなこと暗記して将来何の役に立つのか、など後ろ向きになり、やらない言い訳を考えたくもなるものです。しかし、自分の弱さに打ち勝ち、成果が出ると達成感、自分に対する自信など、計り知れないご褒美が待っています。若いうちのがむしゃらに勉学に打ち込んだという経験は将来必ず役に立つと信じています。また、受験を考えてない諸君にとっても大切な夏ということに変わりありません。若い今しかできないこと、若者の特権「金はないが時間はたっぷりある」を生かし充実の夏を過ごして下さい。新学期には、充実の夏を過ごし、一回り大きくなった諸君たちに会えるのを楽しみにしています！ファイト！2015年度生！！

「時間の有効活用をすること。勉強+αの夏休みにしよう」

第2学年主任 大嶽 敦

夏休みは生活のリズムを崩さず、早寝早起き等普段の生活習慣を保ち、毎日の学習時間を確実に増やすこと。それから、将来の仕事や進学後に学びたい分野等についてより明確に考えること。受験につながる選択科目の選択も控えています。保護者に相談したり、担任の先生、教科担当の先生に相談しましょう。夏休みの過ごし方として、校内外の活動に参加しましょう。部活動や夏期講習等の校内の活動の他、この機会に保育補助体験、看護体験、ボランティア等、校内ではできない体験を積極的に取組んでほしいです。保育補助体験、看護体験等のインターンシップ、ボランティアは、自分を高めるだけでなくAOや公募制推薦での受験時のポイントにもなります。体験をする場合は取組んだ内容や感想をNOLTY手帳等に必ず記録を残すこと。来年の夏休みではできないことなのでよく考えて予定をたてること。また、大学でのオープンキャンパスに参加することは、今のみなさんに必要なことです。今後の進路目標を具体化するために参加してください。また大学進学希望者は、この機会に早慶、MARCH等を訪れてください。複数の大学等を見比べて特色を知り、その違いについて関心を持ちましょう。

最後に、読書や新聞を読むことで身に付く力は、将来、社会人として不可欠な知識や常識、文章の表現力、言葉の使い方等になります。“将来のため”という意識を持って取組んでください。

「夏季休業中の過ごし方」

第1学年主任 小島 弘之

諸君は、自らの進路希望を明確にして、真剣に日々を過ごしていることでしょうか。そうでなければ困るのですが、2年生になって、「私はどのような進路に進んだらよいのでしょうか」と担任に相談する生徒がいるというのが現実です。この夏休みにしっかりと進路研究をしましょう。

進学を希望している諸君には、夏休み中、関心のある上級学校を訪問してください。そして正確な情報を収集してください。安易に志望校を決めると、後で後悔することになります。

就職を希望する諸君は、夏休み中、業種や職種についての知識を得て、自分の進むべき道をしっかりと見定めてください。大切なのはしっかりとした夏季休業中の計画を立てることです。その際、必ず起床と就寝の時間を定めてください。夜更かしをして怠惰な日々を過ごしてはいけません。手帳にしっかりとスケジュールを記しましょう。

志（明確な進路意識）と規律ある生活が未来への道を開きます。夏季休業中は、家族とのコミュニケーションも大切にしてください。進路についても一人で決めるのではなく、保護者とよく話し合って決定しましょう。ひとりの時間も大切です。夏休み中も読書をしましょう。そして、自己と向き合い、「自分の長所は何なのか、どのような人生を歩みたいのか」といったことを自分に問いかけてみてください。健康にも十分に留意し、充実した夏休みを過ごすことを願っています。新学期、諸君の元気な顔を見るのを楽しみにしています。

「充実の夏に」

生活指導部主任 田中 信吾

1学期も終わりを迎え、夏休みが始まります。1学期に行われた、大きな行事のひとつである体育祭は、生徒諸君の頑張りでもとても素晴らしいものでした。

さて、3年生にとっては「勝負の夏」、2年生にとっては「部活、行事準備の夏」、1年生にとっては「高校生活初めての夏」といったところでしょうか？学校を離れることの多い夏休みでは、普段体験できない多くのことを体験できるチャンスです。部活動合宿、海外研修、勉強合宿、家族旅行など、家族や友人との関係を深めたり、違う文化に触れたりといった経験は、これからの高校生活を充実させてくれるものとなるでしょう。しかし、学校を離れる機会が多いということは、誘惑も多いということです。せっかく学校生活のリズムができたのに崩れてしまう、悪い誘惑に負けて校則で禁じられていることをしてしまう。授業がないからと言って、大崎高校の生徒でなくなるわけではありません。9月になれば、黎明祭、強歩遠足など大きい行事が続きます。また、3年生にとっては、就職、推薦入試など受験が始まる2学期でもあります。その2学期をスタートさせるために、夏をどう過ごすか考えてください。指導を受けることからスタートするのか、それとも、行事に全力を傾け、その後の生活にリズムよく入っていくのかでは大きく差がつきます。

また、生活のリズムが崩れてしまうと大きな事故につながりかねません。人は誰でも自分は大丈夫と思いがちです。ちょっとした不注意が、事故につながります。特に、自転車の事故では、1学期に2件の報告を受けています。車にぶつけられた、自転車同士でぶつかってしまい、相手が倒れた、といった2件です。自転車の事故は、被害者にも加害者にもなる可能性があります。注意不足にならないよう、生活のリズムを整えて過ごしてください。

生徒諸君は、誘惑に負けず、生活のリズムを整え、充実した夏を過ごすよう努力してください。また、保護者の皆様には、お子様の様子に目を配り、何かありましたら学校にご相談いただくようお願いいたします。

「夏の頑張りを今後に活かす」

進路指導部主任 鈴木 勝雄

1学期の学校生活への取り組みはどうでしたでしょうか。

学業も部活動もともに頑張れたという人や、なかなか思うように勉強への取り組みが十分にできなかった人など、さまざまな思いで1学期の終業式を迎えることと思います。

そこで、この夏休みはそれぞれの学習状況や学年に応じ、そして各自の進路目標や進路実現に向かって、何が必要で何が足りないのかを把握し、各自のやるべきことに対してしっかりと取り組んでください。

1年生は国数英を中心に、1学期に学んだ学習内容がしっかりと身に付いているかどうかを復習し、もしできていないようなら着実に定着させるところから始めましょう。学校の夏期講習を活用するのもよいでしょう。計画的に取り組むようにしてください。

2年生は、3年生での進路希望の決定と実現に向けた取り組みを行う上でも、とても大切な夏休みとなります。大学の入試問題が1・2年生で学習した内容から出題される割合が高いことから、この長期の夏休みにしっかりとこれまでに学んだ内容を復習して基礎力を固めることが、何よりも大切になります。それが今後の学力の伸びに大きく影響してきます。教科書での復習や、夏期講習などをうまく活用しましょう。また、進路意識を高め、今後の学習意欲に結び付けていく上でも、是非オープンキャンパスに行って将来の進学先を見つけてきてください。

3年生は、これまで以上に進路実現に向けて大切な夏休みを迎えることとなります。この夏休み、進路実現に向けた取り組みに、どれだけ努力したかで進路の結果が決まってくるといってもよいでしょう。大学進学希望、専門学校希望、就職希望、それぞれ自分がやらなければならないことは分かっているはずです。そして、あとはそれに従ってやるだけです。やるべきことをしっかりとやり進路実現に向かって、一歩でも二歩でも近づくようにしてください。この夏休みが最後の頑張りのころです。

各学年この夏休みはこれまでの自分を振り返りかえるとともに、今後の自分の進路についてじっくりと考え、そして見つめ努力するには良い機会です。進路希望の実現にとって大きな力となるのは各教科で身に付けた基礎基本です。足元をしっかりと固め、進路実現に向けて取り組んでいきましょう。

